

「世界初録音」CD発売記念プログラム

「リュートの飾り棚」(1695)

ルサーージュ・デ・リシェーの音楽

グライフ(1610年)作のオリジナルリュートとガット弦による演奏

2008年3月7日[金] 19時開演

近江楽堂 東京オペラシティ 3F

Philipp Franz LeSage de Richee

組曲：レ短調

組曲：レ長調

バイエルン選帝侯エレクツィエ夫人に捧げるトンポーとジグ：ファ短調

組曲：ド短調

パッサカリア：ド短調

400年を経たオリジナルリュート『グライフ』の3枚目のCDがリリースされる。

ルサーージュ・デ・リシェーの音楽「リュートの飾り棚」(1695)は、「飾り棚」に入れられたきらきらと光る宝石のような輝きを持った小品集である。ヴァイヒェンベルガーに続いて世界初録音となる。

ルサーージュ・デ・リシェーの音楽は「歌うような様式」=「カンタービレ様式」の要素もかなり強く、それが「プリゼ=自由奔放な様式」(=崩された様式)に融合した独自のものである。

ガット弦を使用した演奏によって、初めてこうした作品の真価が再発見された。

「今はこの楽器が私の先生である。」と佐藤氏。

歴史的リュートより靈感を得て、現代の名手によって蘇るリュートの名曲をお楽しみください。

ルサーージュ・デ・リシェー

生没の年代や場所も明らかでないが、フランスに生まれ、シャルル・ムートン(1626-1699頃)に師事した後ヨーロッパ各地を幅広く旅して、17世紀末頃(1690年以降)ドイツ語圏プレスラウ(今のポーランドのウロクラウ)に定住した貴族出身のリュート奏者である。バッハの頃のドイツのリュート奏者に多大な影響を与えた。

グライフについて

ラウレンティウス・グライフは、高名なリュート製作家の家系としてドイツの町フェッセンに生まれ、インゴルシュタットの宮廷付製作家として働いていた1610年にこのリュートを作った。その後1673年に11コースのフランス式(バロック)リュートに変更され、今日に至った。そしてオランダの製作家ニコール・ファン・デア・ヴァールスによって4年間に亘る修復作業の末、1994年に演奏可能な状態となった。このリュートによるCDは、今回の「リュートの飾り棚」の他に「自由奔放な様式」~ゴートイエ派によるフランスのバロックリュート音楽「Style brisé」(Channel Classics CCS8795)と「華麗なる様式」~ヴァイヒェンベルガーの音楽「Weichenbeger a "Galant Master" (Nostalgia 0401)がある。

前売 4,500円 当日 5,000円

[ご予約・お問い合わせ]

近江楽堂・松木アートオフィス TEL.03-5353-6937

リュート&アーリーギターソサエティ・ジャパン事務局 TEL.048-967-0311

[チケット取扱い]

東京オペラシティチケットセンター TEL.03-5353-9999

東京古典楽器センター TEL.03-3952-5515

リュート&アーリーギターソサエティ・ジャパン 25回リュートセミナー

受講生募集

元オランダ王立音楽院教授 佐藤豊彦氏による公開レッスン

日時◎2008年3月8日[土]・9日[日] 会場◎近江楽堂(東京オペラシティ3F) TEL.03-5353-6937

リュート、アーリーギター、クラシックギターによる独奏、重奏、アンサンブル、声楽(リュートソング)、声楽アンサンブル、リコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロックヴァイオリンなどの古楽器によるコンサートもしくはアンサンブル

[受講のみ] 一般 14,000円/会員 12,000円

[受講&コンサート] 一般 18,000円/会員 15,000円

[聴講のみ] 一般 1日のみ 3,000円/2日間 5,000円/会員無料

[聴講&コンサート] 一般 1日のみ 7,000円/2日間 9,000円/会員 4,000円



佐藤豊彦 [Toyohiko Satoh|リュート]

世界のリュート界の第1人者として国際的に活躍している佐藤豊彦は、立教大学在学中に皆川達夫に音楽史を、大沢一仁にギターを、呉泰次郎に作曲を学んだ。1968年スイスに留学、バーゼルのスコラ・カントルムでリュートをオイゲン・ドンボアに学び、1971年には世界で初めてのバロックリュートによるソロLPを録音してデビュー。1973年にはオランダのハーグ王立音楽院の教授に抜擢され、2005年1月に退任するまで世界各国で活躍する多くの後輩リュート奏者を育ててきた。1980年にはオランダでエジソン賞を、日本でも同年に文化庁芸術祭優秀賞を、さらに1983年にはレコード・アカデミー賞を受賞。その間1983年にはニューヨークのカーネギーホールにデビューし、ニューヨーク・タイムズに写真入で絶賛を博す。翌1983年のオランダ・フェスティヴァルには作曲家としてデビュー、「ローランへの巡礼」などを初演し、自ら主宰するグループ「アルバ・ムジカ・きょう」と共に今までに2枚の自作品によるCDを録音した。数多くのソロCDや50枚以上のアンサンブルのレコーディングを始め「バロックリュート教則本」、「リュート現代曲カタログ」、「モーツァルト・リュート歌曲集」や自作品の出版物もあり、現在も世界各地でコンサートやマスタークラスを行なっている。2000年には「リュート&アーリーギターソサエティ・ジャパン」の会長に就任し、40年近くにもなる長いヨーロッパでの経験を日本の古楽界の発展に貢献すべく、活動の重点を日本へ移動しつつある。



[お問い合わせ・お申し込み]

リュート&アーリーギター
ソサエティ・ジャパン事務局
TEL&FAX 048-967-0311
〒343-0821
越谷市瓦管根3-9-3(櫻田)
E-mail torulute@ybb.ne.jp